

ネパールに救急車寄贈

県内有志
グループ

AMDA開設の病院へ



ネパール・プトワール市に病院を設立・運営している医療NGO「AMDA」(アジア医師連絡協議会、本部・岡山市)に対し、有志の支援グループが十二日、救急車を寄贈した。AMDAは、病院が開業一周年を迎える今年十一月までに現地へ救急車を届けることにしている。

救急車を寄贈したのは、音楽サークルを母体にスタートした「AMDAネパール子ども病院に救急車を贈る会」(北浦信夫代表)。昨年十月に募金活動を始め、収益で今年六月に救急車を発注、AMDAに引き渡した。

AMDAに救急車を寄贈する北浦信夫代表(左)

岡山市槽津のAMDA本

部でこの日、贈呈式が開かれ、北浦さんらが普救義・AMDA代表にチーや目録などを手渡した。普救代表は「病院に手術機を設けて外科医療レベルが高まる中、診療圏の拡大にも大きく貢献してくれる」と感謝の言葉を述べた。

AMDAは昨年十一月、プトワール市に「AMDAネパール子ども病院」を開設。医療器具のない搬送用車両を配備していたが、救急車はなく、重症患者の搬送が困難な状況だった。九月中旬を境に救急車を現地向けて送り、病院開設記念日の十一月二日には車両を披露したい考え。

北浦さんは「今後、募金活動を続けて救急車に高度な救命救急器具を加えるのが目標。さらに、二台目の救急車購入やボランティアへの資金援助も目標とした」と話している。